

報道
資料

Press Release

カレーライメ



テレビとう



なごやでとれたさかな



なごや の うつり かわり

ハンドルのついたせんたく機



しょうわ30ねん



ごろのなごやえき

(撮影) 伊東重光氏

なごやでさいしょのちかてつ



名古屋市博物館 NAGOYA CITY MUSEUM

企画展「なごやのうつりかわりーうみ・やま・まちのくらしー」
The Story of Nagoya

会期 令和3年(2021)1月9日(土)～3月7日(日)

主催 名古屋市博物館

特別協力 船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

協力 (株) 国際デザインセンター

海の学び
ミュージアム
サポート

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本
PROJECT

企画展「なごやのうつりかわり」の概要

名古屋市小学校3年生は、名古屋市やそこに住む人々の生活のうつりかわりについて学習します。その学習内容に合わせて、今回の企画展では、明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介します。

会場では「交通のうつりかわり」「なごやの広がり」「なごやの中のいろいろな暮らし」「道具や暮らしのうつりかわり」というテーマで展示しています。

新旧の名古屋駅、テレビ塔建設、市電と地下鉄、家電の登場などのテーマから、名古屋市と人々の生活がうつりかわる様子をたどることができる展覧会です。

企画展「なごやのうつりかわり」の特徴

1. 12のテーマで、なごやのうつりかわりをたどることができます。

「交通」「市域の広がり」「特徴的な産業」「家電製品の普及」など、名古屋で住む人々にとって身近なテーマで企画展は構成されます。明治時代から現在までの間に、名古屋市と人々の暮らしが変わっていく様子が分かります。

2. なごやのうつりかわりを知るための分かりやすい資料がたくさんあります。

昔の道具、古い地図や写真などの資料を展示するだけでなく、図表、グラフ、子ども向けの説明文など、展示の理解を助ける材料を用意しています。小学生の見学を想定しているので、どなたにとっても分かりやすい内容となっています。

3. なごやのうつりかわりを体験することができます。

企画展会場（特別展示室）の隣に体験学習室（部門展示室）を併設しています。体験学習室は企画展と合わせた内容となっており、展示を見た後は体験をして楽しみながら、なごやのうつりかわりを学ぶことができます（平日は小学校3年生の校外学習専用）。

基本情報

- 展覧会名称 企画展「なごやのうつりかわりーうみ・やま・まちのくらしー」
- 会期 令和3年(2021)1月9日(土)～3月7日(日)
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたる時は、その直後の平日)・第4火曜日(祝日を除く)
1月12日(火)・18日(月)・25日(月)・26日(火)
2月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)
3月1日(月)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 主催 名古屋市博物館
- 特別協力 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」
- 協力 (株)国際デザインセンター
- 観覧料

種別	単独券	常設展との共通券
一般	300円(250円)	400円(350円)
高大生	200円(150円)	300円(250円)
中学生以下	無料	無料
市内在住65歳以上	100円(80円)	200円(110円)

*高大生・中学生は学生証、市内在住65歳以上の方は敬老手帳等の提示が必要。

*カッコ内は30名以上の団体料金。

*名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用してご来場の方は50円割引。

*障害のある方は手帳の提示、難病患者の方は受給者証の提示により、本人と介護者2名まで無料。

*各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

- 展示室内の写真撮影OK。詳細は会場または博物館公式ウェブサイトにて。
- 感染症対策のため、会場の混雑状況に応じて入場を制限する場合があります。また、展覧会・体験学習室の内容・実施の有無等は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式ウェブサイトまたはSNSでご確認ください。

関連事業 体験学習室

入場無料

企画展「なごやのうつりかわり」と連携した体験ブースです。生活道具のうつりかわりや名古屋のまちの変化を、クイズやパズルなどで楽しく学ぶことができます。

- 会場 名古屋市博物館1階 部門展示室
- 開室日時 企画展開催期間中の土・日・祝日限定
午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

*平日は小学校3年生の校外学習専用となるため、一般の方は入室できません。

展示構成

本展は12のテーマから構成されます。12のテーマはA～Dのエリアに分かれています。

A. 交通のうつりかわりを調べてみよう

1. 駅ができて電車が走った
2. 乗り物が変わった

名古屋駅とその周辺が変わったこと、市電や地下鉄の路線が拡大したこと、自動車が普及したことを紹介し、現在のように交通手段が充実していく様子をたどります。



昭和30年ごろの名古屋駅
(撮影) 伊東重光氏



名古屋で最初の地下鉄



パブリカ
(撮影) 寺西二郎氏

B. なごやの広がりを調べてみよう

3. 広がった名古屋市
4. 学校や図書館が増えた
5. 今と昔の小学生

明治22年(1889)に市制を開始した名古屋市は、近隣の市町村との合併を重ねて現在の姿になりました。市域が広がる様子、市域の拡大や人口増加にともなって学校や図書館などの公共施設が増えたことを紹介します。



大正10年の名古屋市と
合併した近隣の16町村



学校の屋根瓦

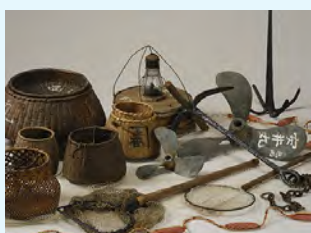


冬の生活 (ふゆのくらし)

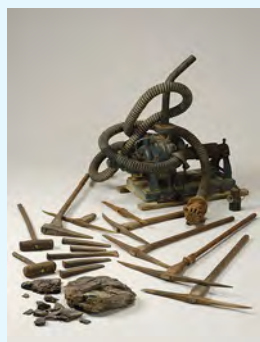
C. なごやの中のいろいろな暮らしを調べてみよう

6. 海の近くの暮らし
7. 小高い場所の暮らし
8. 田や畑のある暮らし
9. まちの暮らし

名古屋市は周辺の市町村と合併することで、沿岸部、丘陵地、農村など様々な性格の地域を含むようになりました。また、それぞれの地域には昭和 30 年ごろまで地域の特徴に応じた産業がありました。それぞれの地域と現在までのうつりかわりを紹介します。



漁業の道具（下之一色漁業資料）



亜炭を掘る道具



建設途中のテレビ塔
（撮影）竹村文男氏



風の力で穀物を選別する道具（とうみ唐箕）

D. 道具や暮らしのうつりかわりを調べてみよう

10. 電気のある暮らし
11. せんたくやそうじの道具が変わった
12. 食事が変わった

現在の生活に欠かすことのできない電化製品が急速に普及したのは、昭和 30 年代以降のことでした。明かりの道具や電気洗濯機、電気冷蔵庫を展示して、生活の道具と毎日のくらしがうつりかわる様子を紹介します。



ハンドルのついた洗濯機



カレーライス



笠に電球をつけた電灯

広報用作品画像・プレゼント用チケット申請書

企画展「なごやのうつりかわりーうみ・やま・まちのくらしー」
令和3年(2021)1月9日(土曜)～3月7日(日曜)

【注意事項】

広報用画像の使用は、企画展「なごやのうつりかわり」を紹介する場合に限ります。
展覧会終了後の広報用画像の使用、または二次利用はお断りします。
広報用画像を紹介する場合には、展覧会名・会期・会場・画像クレジットを必ず記載してください。
広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。
掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記のお問い合わせ先までお送りください。
記事校正是回数・期間に余裕をもってご提出ください。

紙 Web 放送

貴社名 _____ 媒体名 _____

ご住所 〒 _____

ご担当者名 _____ 所属部署 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合及び今後の催事のご案内に使用します。
許可なく第三者に開示することはありません。

★下記画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、プレゼント用チケット(5組10名分まで)を提供します。

希望する _____ 組 _____ 名分 希望しない

※掲載媒体を1部ご提供ください。Web媒体の場合は、掲載ページのURLをお知らせください。
※原則として、当館で掲載を確認した後にチケットを発送します。

★希望する画像の□に✓してください。 ※下記の画像クレジットを使用してください。
※可能であれば「名古屋市博物館所蔵」の文言を記載してください。

1



名古屋で最初の地下鉄

2



昭和30年ごろの名古屋駅
(撮影)伊東重光氏

3



建設途中のテレビ塔
(撮影)竹村文男氏

4



展覧会イメージ
*クレジット表記不要

5



漁業の道具

6



ハンドルのついた洗濯機

7



カレーライス

【お問い合わせ先】 名古屋市博物館 学芸課 企画展「なごやのうつりかわり」広報担当：白井・森
〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
TEL 052-853-2655 FAX 052-853-8400 E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp

【参考】企画展「なごやのうつりかわり」紹介文例

本展を紹介するための例文を用意しました。必要に応じて適宜お使いください。

* 展覧会名称は、サブタイトル「ーうみ・やま・まちのくらしー」が入らない場合、メインタイトル「なごやのうつりかわり」のみのご紹介でも構いません。

(例文 1)

名古屋でくらす人々の生活に注目して、明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介します。(47文字)

(例文 2)

明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介します。「交通のうつりかわり」「なごやの広がり」などの展示から、名古屋市やそこにくらす人々の生活がうつりかわる様子をたどることができます。(94文字)

(例文 3)

今回の企画展では、小学校3年生の学習内容に合わせて、明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介します。

「交通のうつりかわり」「なごやの広がり」「なごやの中のいろいろなくらし」「道具やくらしのうつりかわり」の展示から、名古屋市やそこにくらす人々の生活がうつりかわる様子をたどることができます。(149文字)

(例文 4)

名古屋市の小学校3年生は、名古屋市やそこにくらす人々の生活のうつりかわりについて学習します。その学習内容に合わせて、今回の企画展では、明治時代から現在までの名古屋市のうつりかわりを紹介します。

会場では「交通のうつりかわり」「なごやの広がり」「なごやの中のいろいろなくらし」「道具やくらしのうつりかわり」というテーマで展示しています。

新旧の名古屋駅、テレビ塔建設、市電と地下鉄、家電の登場などのテーマから、名古屋市と人々の生活がうつりかわる様子をたどることができる展覧会です。(237文字)

文字数に余裕がありましたら、下記文言（来館にあたっての注意書き）をご記載ください。

本展は、小学校3年生が校外学習で利用します。開催期間中の平日は、多くの小学生が展示室内で学習しており混雑が予想されます。ご了承の上ご観覧ください。